

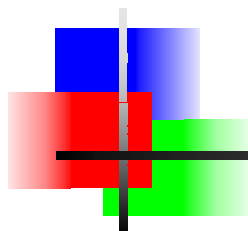
東和薬品 中期経営計画

2008 - 2010

2007.11.5

東和薬品株式会社

(証券コード:4553)





本中期経営計画の位置付け

対象期間は、

2008～2010年度(2008.4～2011.3)の3年間

前提

対象期間中は…、

- 日本のジェネリック医薬品(GE)市場は徐々に拡大
- GEの本格的な普及拡大にはまだ時間がかかる

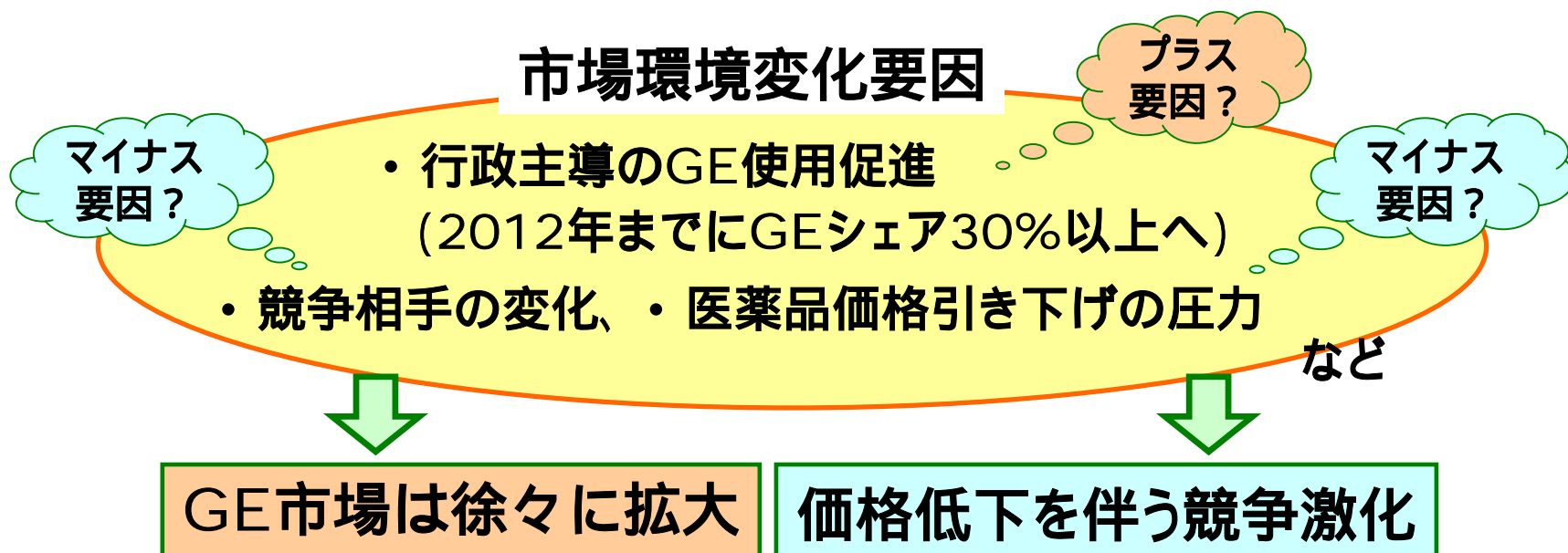
本中計の
主旨

その中で当社が**取り組むべき施策**を明示。

(ただし、前提に変化がある場合には、本計画を修正し、柔軟に対応。)

環境認識

- この3～5年は、環境変化予想困難。



- 生き残りの条件は？

「世界標準レベルの品質・サービス、価格競争力(コスト競争力)」



めざすべき企業像

「信頼」

患者さんに、医療機関で働く方に、社会に、そして、この会社で働くすべての人に
信頼される会社であり続ける。

GE
トップメーカー

日本市場を基盤としたGEメーカーとして、
信頼性及び売上規模でトップレベル
の実力を有し、医療の未来に貢献する。

売上高5年後
500億円

その結果として、売上規模で
5年後(2012年度)に500億円、
将来的には1,000億円をめざす。

基本戦略

めざすべき
企業像

本中期経営計画期間

GEメーカーのなかで、
最も信頼される会社に。

診療所・薬局市場の強化

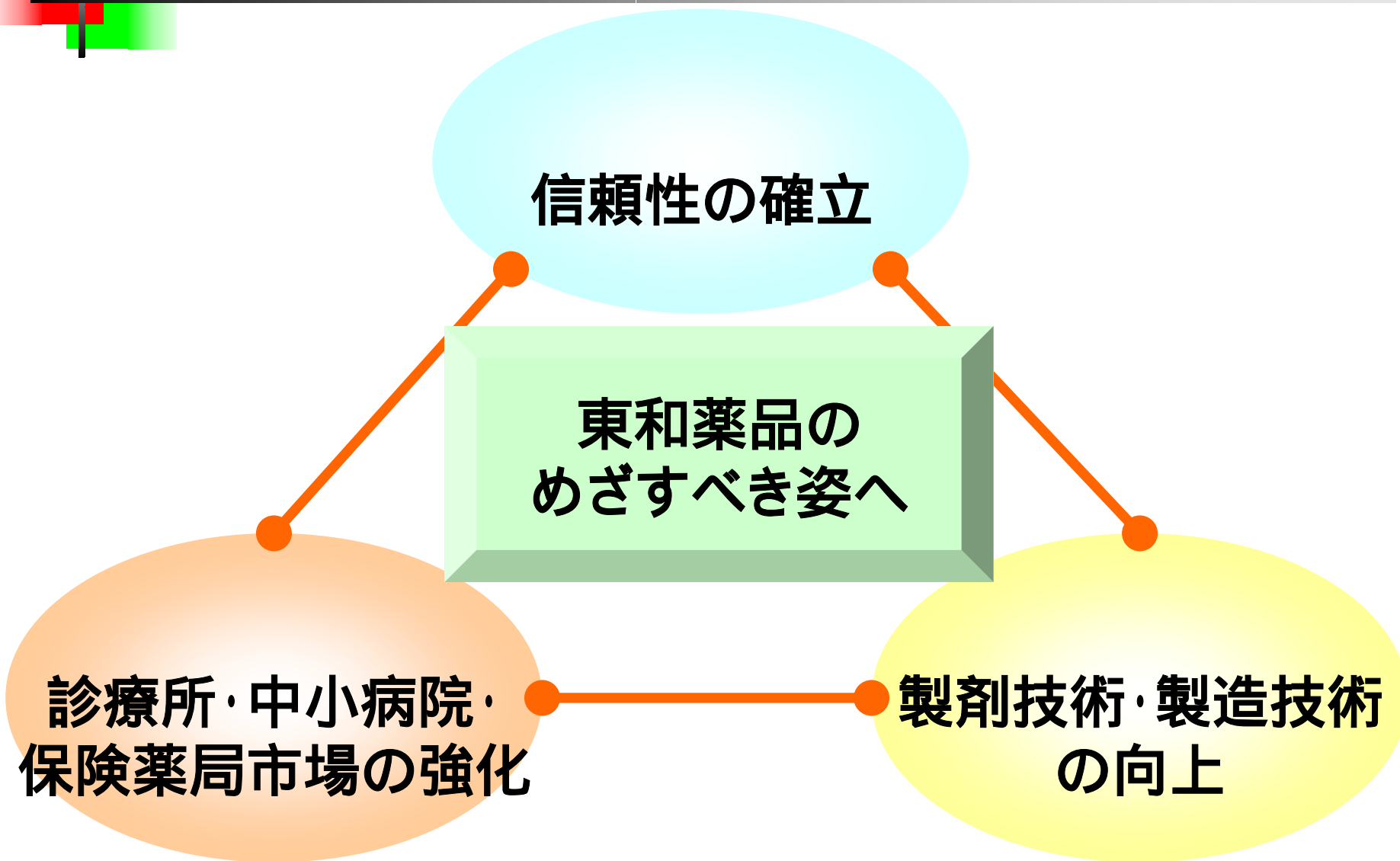
確立した信頼性をもとに診療所、
薬局市場だけでなく、病院でも
実績を伸ばす。
コスト競争力をつけ、低価格での
商品供給を視野に入れておく。

現状と乖離があれば、
一つ一つ解決

現状

市場要求レベルの品質・情報提供・安定供給は確保

中期経営計画主要課題





主要課題

信頼性の確立

社内外からの問い合わせに対する
提供情報管理の強化

自主品質基準による
試験データの取り揃え

安定供給の確保
(生産計画改善、信頼できる原薬供給元確保)

主要課題

東和が強みとする市場 = **診療所・中小病院・保険薬局**
をさらに強化・拡大

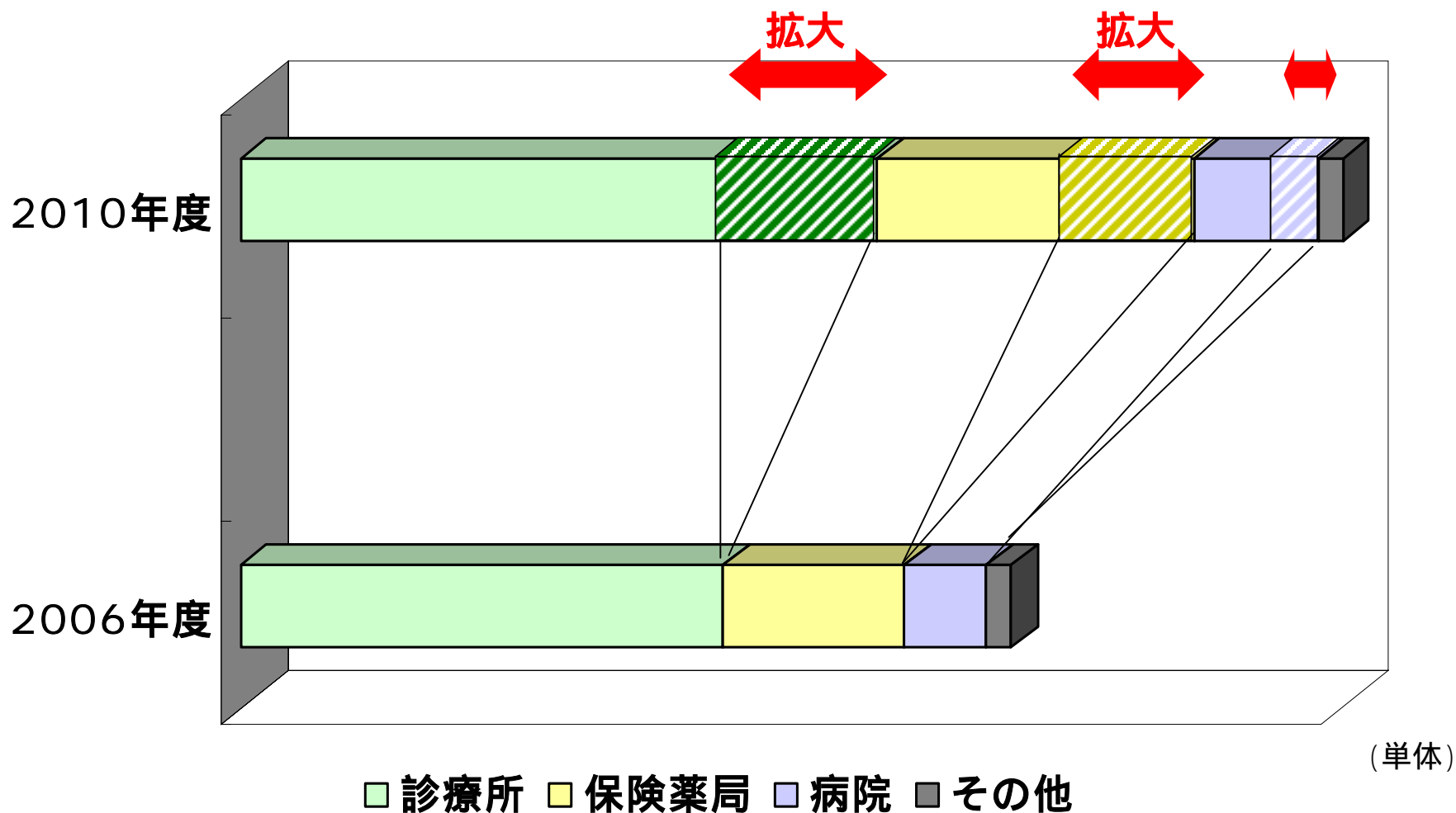
適正価格販売の継続

代理店・営業所網の整備

**診療所・中小病院・
保険薬局市場の強化**

大病院市場は、
DPC準備病院・自治体病院
を中心に市場開拓

納入先市場別売上計画





主要課題

製造コストを意識した製剤設計
(基準処方の共通化)

顧客満足度向上のための
製品改良

各工場の特徴づけによる
設備投資や機能整備

**製剤技術・製造技術
の向上**

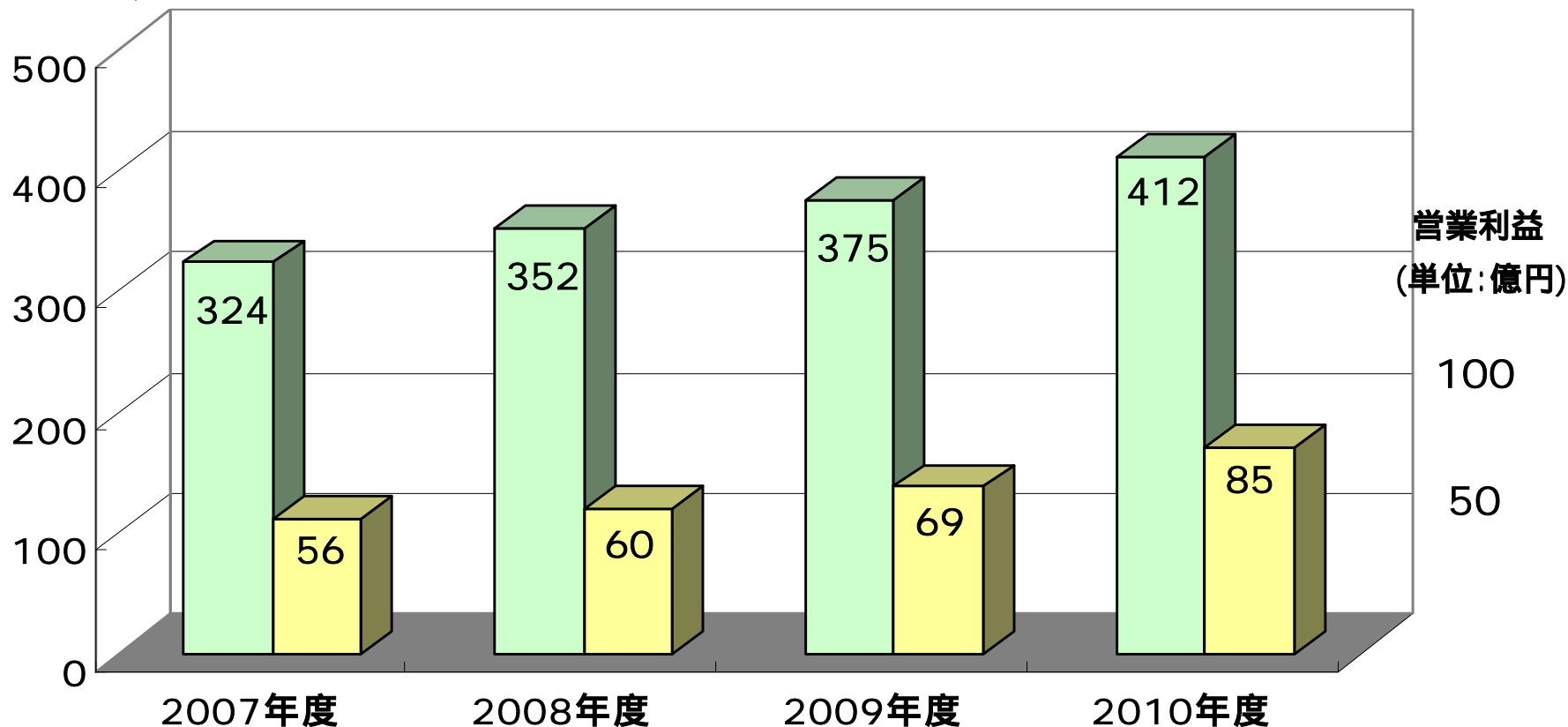
中期経営計画数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	32,400	35,200	37,500	41,200
(前年比)	(+10.8%)	(+8.6%)	(+6.5%)	(+9.9%)
売上総利益	15,370	17,000	18,600	20,600
(前年比)	(+12.6%)	(+10.6%)	(+9.4%)	(+10.8%)
売上総利益率	47.4%	48.3%	49.6%	50.0%
販管費	9,770	11,000	11,700	12,100
(前年比)	(+5.9%)	(+12.6%)	(+6.4%)	(+3.4%)
営業利益	5,600	6,000	6,900	8,500
(前年比)	(+26.8%)	(+7.1%)	(+15.0%)	(+23.2%)
経常利益	5,800	6,200	7,100	8,700
当期純利益	3,550	3,720	4,260	5,220

中期経営計画数値目標(連結)

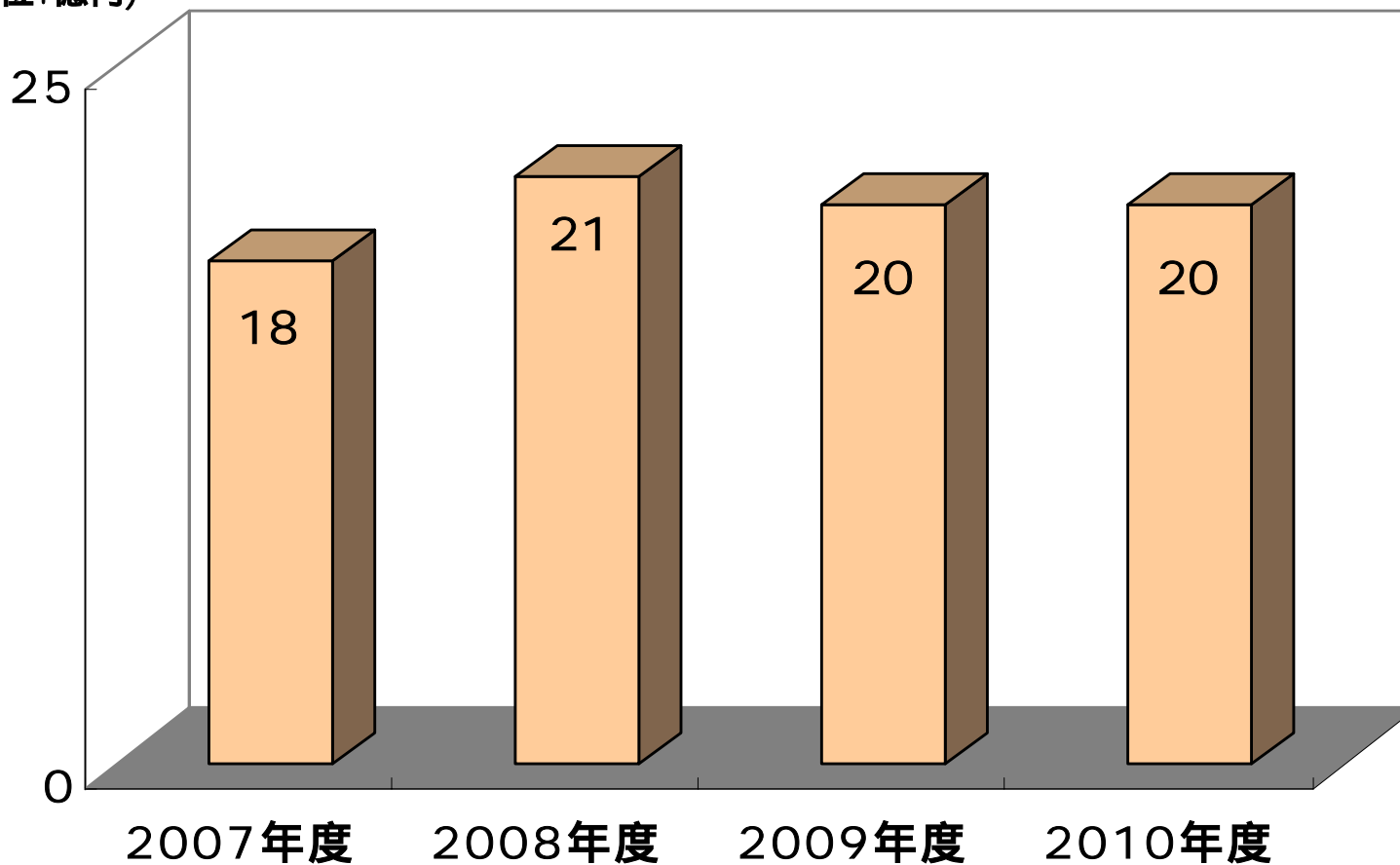
売上高
(単位:億円)



■ 連結売上高 ■ 連結営業利益

研究開発費

(単位:億円)

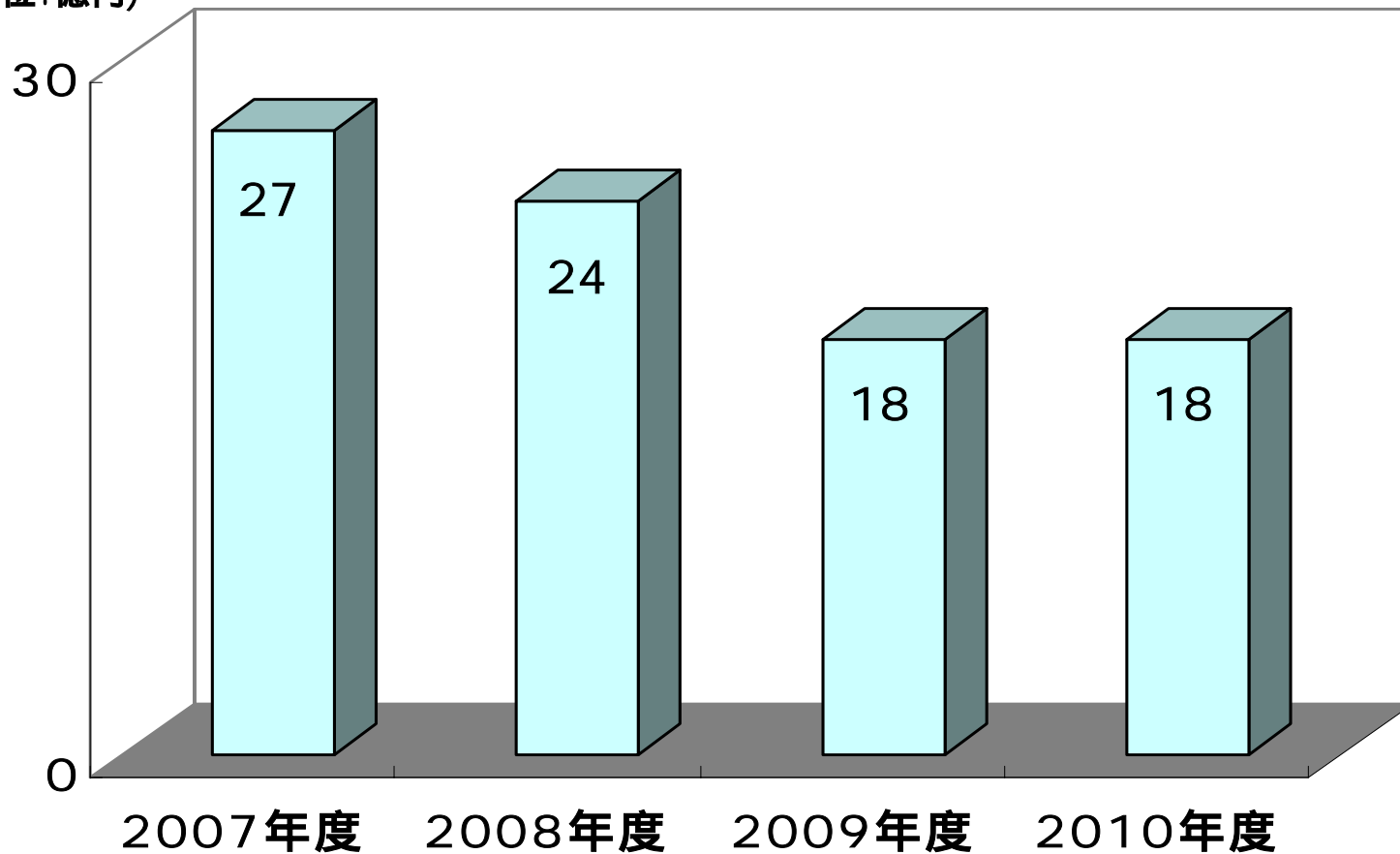


■ 研究開発費

設備投資

注) 山形工場リニューアル分を含んでいない

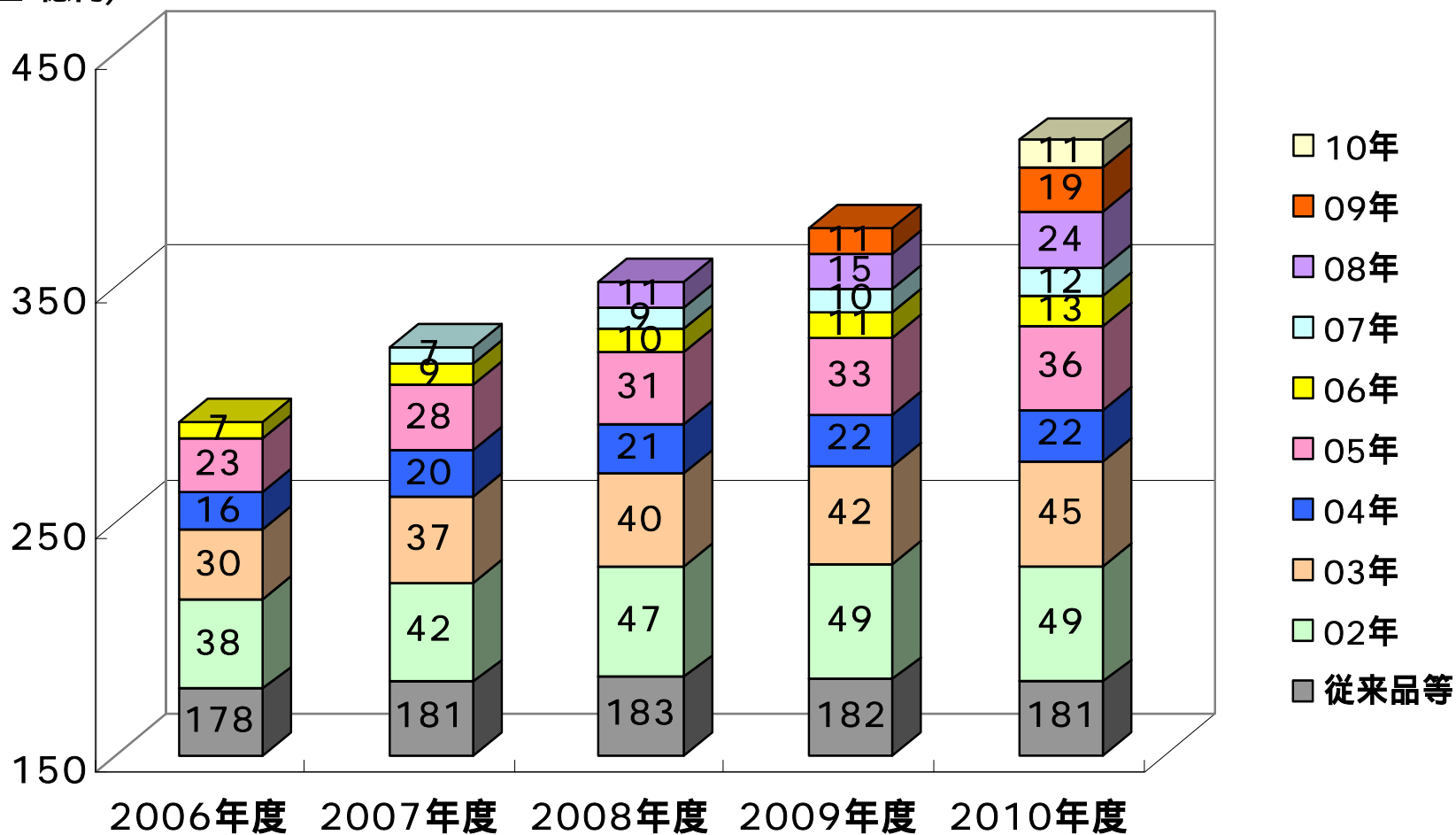
(単位:億円)



□ 設備投資

追補年度別売上計画

(単位:億円)





関係会社戦略

ジェイドルフ製薬株式会社

特色を生かした活動

プロモーション先を肛門科領域に絞り、
痔疾用剤等の製品群の情報伝達に特化

グループ全体での生産効率化

東和薬品が製造販売承認をもつ
液剤・軟膏剤等の製造受託をおこなう。



株主還元策

目標：配当性向30%

- **安定的な配当と内部留保充実の両立**

- ↓
- ・ 山形工場リニューアル
 - ・ 事業環境変化への対応も視野にいたした投資資金



< お問い合わせ先 >

東和薬品株式会社 経営企画部

TEL : 06-6900-9101
FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。